

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目8番2号 京橋MKビル4階

一般財団法人 日本ふとん協会  
TEL. 03-6264-4040

<https://www.japan-futon.or.jp>  
FAX. 03-6263-2660

日本ふとん製造協同組合  
TEL. 03-6263-2661

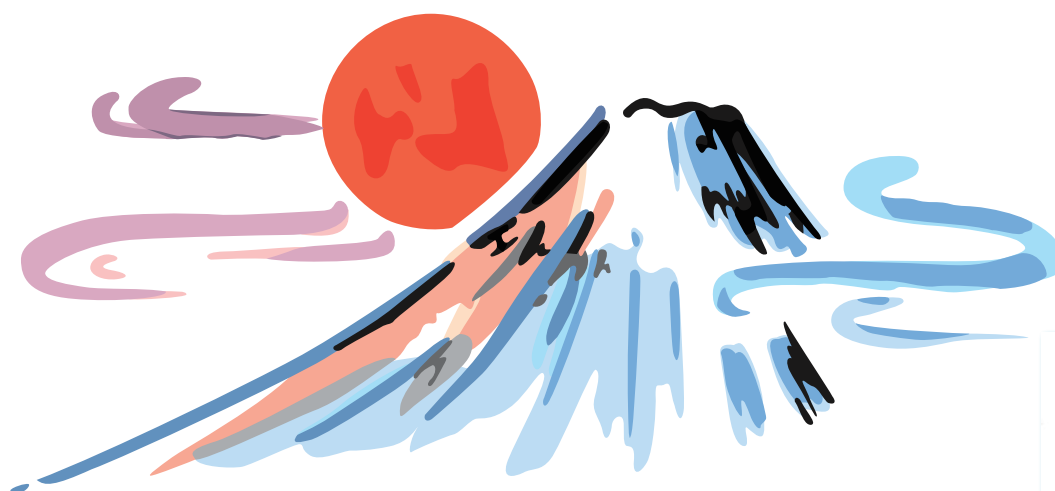
<https://www.futon.or.jp>  
FAX. 03-6263-2660

**JFA**

(財)日本ふとん協会

**JFMA**

日本ふとん製造協同組合



## 組合員の更なる団結



日本ふとん製造協同組合  
理事長 浅黄 敬之

新年明けましておめでとうございます。旧年中は組合活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も引き続き組合活動にお力添えいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、2018年度を顧みますと、さまざまな出来事がありました。特に猛暑、豪雨、台風、地震による自然災害が各地で発生し、改めて地球規模での環境変化を実感する年となりました。被害に遭われました組合企業様には改めてお見舞い申し上げます。国内経済においては個人消費や雇用の改善などもあり、大手製造業を中心として意欲的に設備投資を行い、おおむね好調であったと言えます。しかしながら昨年末に表面化した米中貿易摩擦により、輸出環境の不透明感が強まり、2019年度に入っても不安要素は多数存在しております。

我々寝具業界において昨年は「睡眠」について国民の関心が大いに高まった年と言えます。今まで睡眠は健康三大要素の1つでありながら他の2つの要素である運動・食事に比べると国民の意識は低いものでした。しかし「睡眠負債」が一昨年の流行語大賞候補にもなったように、睡眠に対する国民の意識が飛躍的に高まりました。TVや雑誌など大手メディアがこぞって睡眠をテーマに情報を発信しております。我々組合企業もこの絶好の機会をしっかりとらえ、「睡眠に良いふとんとは何か」を追求し、消費者のニーズに応えるふとんを製造しなければなりません。

ところで組合企業が製造したふとんの証として「まるごとジャパン」ラベルがありますが、この

ラベルが出来てから10年が経過しました。そこで更に多くの組合企業様に使用していただけるような新たなラベルを検討しております。組合企業製造ふとんの優位性を消費者にわかり易く表記し、ラベルのタイトルやデザインも一新したものを制作していきます。また一昨年リニューアルした組合ホームページの内容も更に充実し、睡眠について消費者に有益な情報を提供してまいります。組合企業様におかれましては新しくなったホームページを有効に活用していただき、業績アップに繋がっていただければと思います。

最後に2019年度が組合の皆様にとって飛躍の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



国際交流部会  
部会長 米山 元章

## 技能実習生受入れ再構築に向けて

あけましておめでとうございます。

さて、地域によって違いがあるのかもしれませんが、日本国内の中小企業にとって現在大きな悩みは、工場で働く労働力の不足ではないでしょうか。

最近では、仕事量もそこそこあり、製造するための機械設備もあるのに人員が集まらず廃業に追い込まれる中小企業も多くなっていると聞きます。

我々組合員、組合に属していないふとん製造業の皆さんも、経営を継続していくには人員確保は大きな問題です。

昨今、国会で問題となっている「外国人労働者受け入れ拡大に伴う改正入管法」ですが、昨年12月の初めに与党多数で新しい法案が可決されました。

現在は、「外国人技能実習制度」を利用して、外国人だから安い労働力でこの制度を利用している企業が、長時間労働や最低賃金法を守らない給与体系、実習生のプライバシー侵害等で問題視されています。

又、送り出し機関の現地での募集方法（日本での給与を過剰に表示して集める）、本人から保証金を取り、日本に来てから返済をさせるなど、逃亡の原因にもなっています。

国際交流部会では、年二回部会を開催し、「外国人技能実習機構」から担当者をお願いして勉強会を開催したり、お互いの会社の実習生についての情報交換をしたり、送り出し機関と密に情報交換をしながら外国人技能実習制度を実践しています。

この制度は社会的な批判もありますが、日本国が進めている日本国内の労働者不足を補う制度でもあります。

我々ふとん製造業の人材確保、安定的な企業運営には欠かせない制度だと思えます。

今年は、17期目の実習生が入国予定です。

国際交流部会は、実習生と心と心の交流を目標に、受け入れ事業を今年も行います。

この「外国人技能実習制度」の利用を是非お願いします。



## JFMA HPの更なる進化と組合員の参画

経営情報委員会  
委員長 石田 裕紀子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

JFMA経営情報委員会では組合活動の更なる活性化と充実に向け、機動的に対応するため昨夏3つの分科会を新設し、早速活発な活動が始まりました。①情報誌発行チームでは、機関誌「JFMA情報」のデザインを一新し、組合員企業紹介等も盛り込みました。皆様の率直なご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。本年も変わらぬご愛読のほど宜しくお願い申し上げます。②サイト運営チームでは、皆様に一早く旬な情報をお届けできるよう更新頻度を上げ、より多くの皆様に積極的にご活用頂きたいと思っております。事務局と連携し、ペーパーレス化実現に向けて取り組んでおりますのでご協力の程よろしくお願いたします。③組合ラベル発行チームでは、従来の「まるごとジャパン」ラベルを時代に即応したブランドとして再構築するために、ネーミング・デザイン・基準全てを刷新し、本年の総会での御披露目に向け現在精査中です。国内で丁寧に製造された「安心・安全」な日本製寝具の価値ある優位性を消費者に分かりやすく訴求できるラベルを、より多くの組合企業様に積極的にご活用頂きたいと思っております。

新たな若手4名の参画で総勢7名による新体制のもと、気持ちを新たに一丸となって活動してまいりたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 綿布と寝具市場の動向

丸ホームテキスタイル(株) 代表取締役社長 藤原 孝志

寝装業界で切っても切れない中国での綿花相場は本年年央までは、穏やかな上昇基調で進みましたが年央以降は国際相場の下落に反して高値維持から上昇に転じています。

これは、米中の貿易戦争の関税率アップにより、世界最大の米綿需要国である中国への米綿輸入量が激減するという建前から、中国国内綿花の不足を想定しての動きです。

今後の動向については、米中貿易戦争、作付け地域の減少、備蓄綿の減少などにより更に綿花価格の上昇が予想されております。

人民元の対米ドルレートは昨年秋以降、穏やかな人民元高傾向で推移してまいりましたが、本年6月末以降は米中貿易戦争への対抗策として人民元安誘導が始まり現在に至っています。中国綿布の今後の動向としては米中貿易戦争が短中期的に解決すると、米綿の輸入再開に因る綿花価格の下落と繊維製品輸出再開に因る需要増が見込まれます。全世界的に綿花需要が増加基調にあること、米中貿易戦争が解消されれば景気そのものに浮揚感がでること、賃金ベースが景気の良し悪しに関わらず中国全土的に上昇基調であること、などを考えると相場の底固めはなされており上昇の可能性のほうが高いと思われます。

寝具市場規模（推計値、ベッドを除く）は2016年8138億円（前年比5.9%増）業務用途が訪日外国人の増加で2030億円（前年比20%増）小売市場は6108億円（1.9%増）でした。

業態別では、寝具専門店では7年前に比べ3732店舗減り5036店舗売上1345億円、百貨店では2017年には10年前の60%1290億円まで落ち込みました。チェーンストアにおける寝具類を含むホームファッション分野では二トリの躍進が目立ち日本チェーンストア協会によると、ベッドや布団類を含む「家具・インテリア」の売上高2017年は2008年比62.3%増6669億円に拡大した。電子取引の市場では、寝具を含めた「生活雑貨、家具インテリア」の2017年の規模は前年比9.8%増1兆4817億円。内訳は約7割が家事雑貨、家事消耗品、残りの約3割が一般家具、インテリア、寝具類となっている。

アイテム別では布団26%、毛布8.7%、ナイトウエア13.5%その他の寝具類（マットレス、業務用シーツ、カバー他）でした。

急速な長寿高齢化が進む中、健康意識の高まりとともに、睡眠の重要性が見直されています。今こそ業界を上げて睡眠の研究促進をしなければなりません。

# ま る ご と ジ ャ パ ン ラ ベ ル

## 申請の流れ



①使用認定申請書

②品質基準

③ラベル普及にむけて

④使用認定書交付

⑤追加発注書

⑥ラベル注文書

- ①の申請書の内容を確認いただき、各証明書等を揃えていただきそろい次第、事務局に申請書を提出していただきます。
- 事務局に提出された申請書を基に審査確認します。
- ④の使用認定書を事務局が発行します。
- ④の申請書が届き次第⑤、⑥に記入して事務局にFAXを入れていただきます。
- ⑥の発注書に従い、印刷会社に事務局より出荷依頼をします。
- 印刷会社よりラベルが送付されます。
- 印刷会社より出荷証明書ももらいます。
- 出荷証明書を基に発注者の企業に事務所より請求書が送付されます。
- 企業の皆様は、内容を確認していただき指定の口座に振り込みます。

以上が申請の流れです。

## 「まるごとジャパン」スタンダード・バージョンラベル使用認定申請書

平成 年 月 日

日本ふとん製造協同組合 御中

申請者

住 所 \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_ 印

JFMA共同ブランド「まるごとジャパン」スタンダード・バージョンラベルの使用認定を受けたく、下記の通り申請します。

### 記

#### 1. 申請製品の種類

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| a. 羽毛掛けふとん          | f. 合繊掛け又は肌掛けふとん |
| b. 羊毛掛け又は肌掛けふとん     | g. 合繊敷きふとん      |
| c. 羊毛敷きふとん          | h. 綿わた使用ふとん     |
| d. 合繊入り羊毛掛け又は肌掛けふとん | i. テンセル使用ふとん    |
| e. 合繊入り羊毛敷きふとん      | j. まくら          |

#### 2. 製品の品番又は銘柄：

3. ラベル添付製品の予定販売数： \_\_\_\_\_ 枚

4. ラベル使用予定数量（100枚単位）： \_\_\_\_\_ 枚

5. 使用する詰めもの原料のロット数量： \_\_\_\_\_ kg

6. ふとん側生地の試験成績書の写し又は証明書の写しの添付

7. 詰めものの試験成績書の写し又は証明書の写しの添付

8. 縫着部の運針数： \_\_\_\_\_ 針 / 3cm

9. ラベル使用予定期間： \_\_\_\_\_ 年 月 ~ \_\_\_\_\_ 年 月

10. ラベル送付先 住 所 \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

T E L \_\_\_\_\_

11. ラベル取扱責任者 氏 名 \_\_\_\_\_ 役職名 \_\_\_\_\_

# ラベルの種類

スタンダードラベルと  
プリントネーム



デラックスラベルと  
ネームセット



## 平成30年4月1日からの申請者

### 申請者順

- 1 (株)ダルマックス 様
- 2 アサギ(株) 様
- 3 木村綿業(株) 様
- 4 (株)コボックス 様

まるごとジャパンラベル 出荷枚数 18,400枚 (単価70円 内税)

プリントネーム 出荷枚数 3,500枚 (単価20円 内税)



## 本多綿業株式会社

代表取締役社長 本多 英夫

### Q. 御社の紹介をお願いします

A. 弊社は1858年(安政5年)に現在の岡山県真庭市で創業し、当初は当時岡山県の備中地方で広く栽培されていた「備中綿」を収穫し、布団綿を製造し販売していました。その後、業態を製綿業から寝具製造業に転換し、現在に至ります。  
「義は利の元なり」という創業当初から受け継がれている企業理念のもと、共存共栄を心掛け信頼関係を大切にし、人と人のつながりが最も大切であるという信念をもって更なる発展を目指しています。

### Q. 組合に期待する事は何でしょうか

A. 各社個々では出来ない、または難しい大きな枠組みでの活動、人材の育成や確保等はもちろん、組合員である事のメリットは何であるのかを教えて頂き、各社が組合をもっと活用できるようにして頂きたいです。

### Q. 最後に御社の展望をお聞かせ下さい

A. 創業以来約160年、代々積み重ねてきた信頼と伝統を誇りに感じながら、得意先様、仕入れ先様そして地域社会と共に共存共栄を図れるよう、そして創業200年を目指して日々精進して行きたいと思えます。

## 白崎繊維工業株式会社

専務取締役 白崎 善大

### Q. 御社の紹介をお願いします

A. 弊社は約100年前に福井県は福井市より私の曾祖父が北海道夕張市に入植しました。当時は酒屋を営んでおり、その後キツネとタヌキの養殖農場を札幌市で営んだと聞いております。今の白崎繊維工業株式会社は創業昭和16年で祖父が築いた事業です。当時は紡績からのスタートだったそうです。来道してから私で四代目になります。

### Q. 組合に期待する事は何でしょうか？

A. 組合の委員会に属していますので、質の良い情報を提供していきたいと思っております。会員企業数の増加は余り期待出来ることではありませんが、残された会員企業で切磋琢磨していければ。若い力が必要ですね。

### Q. 最後に御社の展望をお聞かせ下さい

A. 弊社は別会社にてサービス付き高齢者向け住宅の分野で5年前に新規参入しました。本業だけではどうしても固定観念が固まってしまう。頭を柔らかく、そして違った目線からも我々の寝具業界を考察していくために異業種参入を考えています。



# 統 計 資 料

輸入実績（財務省貿易統計 / 出所）

		1～9月			9月		
		枚	kg	1,000円	枚	kg	1,000円
羽毛原料	世界系	—	2,007,406	12,063,027	—	275,236	1,874,492
		—	90%	106%	—	79%	98%
ふとん	世界系	15,569,891	39,322,124	29,171,962	2,539,314	6,897,739	5,374,694
		108%	104%	108%	109%	103%	115%
羽 根 羽 毛	世界系	2,466,525	3,832,336	7,700,877	188,584	452,218	1,232,357
		117%	103%	119%	104%	107%	123%
	中 国	2,306,029	3,125,997	6,782,492	135,859	291,786	938,782
		115%	88%	119%	77%	71%	102%
合 織 織 維	世界系	12,372,911	32,043,241	19,102,577	2,264,105	6,082,348	3,920,581
		108%	106%	106%	111%	106%	116%
	中 国	11,669,734	29,341,707	17,892,776	2,150,083	5,655,178	3,677,983
		106%	105%	105%	109%	104%	113%
その他	世界系	730,455	3,446,547	2,368,508	86,625	363,173	221,756
		85%	87%	93%	80%	69%	72%
	中 国	727,363	3,437,424	2,340,849	86,523	362,926	219,540
		95%	93%	101%	85%	72%	76%

2018年9月のふとん・製綿の販売数

月末在庫は数量は前月比

単位：ふとんは枚、製綿はkg。金額は、1,000円 注：カッコ内は前年同月比（%）

	生産枚数		販売数量		販売金額		月末在庫 数 量
	9月	1～9月	9月	1～9月	9月	1～9月	
掛ふとん	50,412	468,678	51,249	509,244	179,560	1,591,956	46,417
	(-13.3%)	(-7.4%)	(-19.9%)	(-3.9%)	(-8.0%)	(3.6%)	(4.0%)
敷ふとん	99,775	914,838	92,099	842,939	517,565	4,793,529	76,324
	(-10.7%)	(-4.8%)	(-13.1%)	(-8.3%)	(-13.5%)	(-2.8%)	(6.4%)
こたつふとん	8,457	44,539	10,272	71,901	55,488	377,856	12,255
	(-38.4%)	(-6.5%)	(-53.1%)	(8.8%)	(-38.5%)	(0.2%)	(14.3%)
羽根・羽毛	141,776	826,450	150,514	967,454	1,765,755	10,563,240	78,614
	(3.6%)	(-0.7%)	(2.0%)	(0.2%)	(12.6)	(3.7%)	(-4.7%)
ふとん合計	300,420	2,254,505	304,134	2,391,538	2,518,368	17,416,581	213,610
	(-6.2%)	(-4.0%)	(-10.3%)	(-4.1%)	(2.7%)	(1.0%)	(1.9%)